

2. 流域治水プロジェクト2.0について

流域治水プロジェクト2.0

～気候変動下で水害と共生する社会をデザインする～

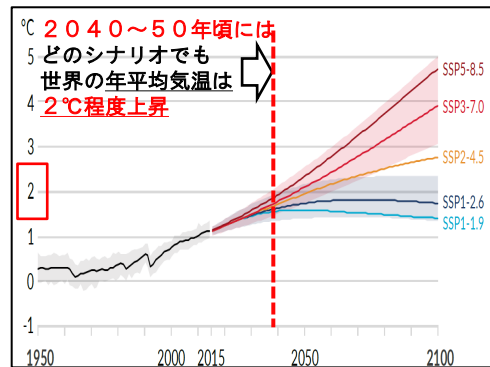
R6.3更新(2.0策定)

■現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算。
現行の治水対策が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの関心の高まりに伴い治水機能以外の多面的な機能も考慮する必要
- インフラDX等の技術の進展

■流域治水プロジェクト更新の方向性

- 気候変動を踏まえた治水計画に見直すとともに、流域対策の目標を定め、あらゆる関係者による流域対策の充実
- 対策の“量”、“質”、“手段”の強化により早期に防災・減災を実現
- **気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方向性を『流域治水プロジェクト2.0』として、全国109水系で順次更新し、流域関係者で共有**

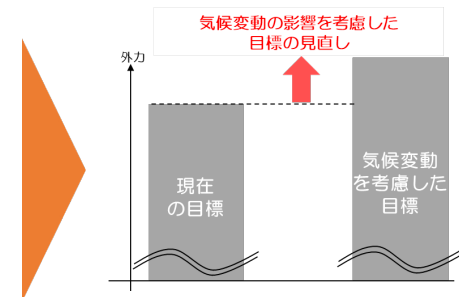


| 気候変動シナリオ | 降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模) |
|----------|-------------------------|
| 2℃上昇相当 | 約1.1倍 |

降雨量が約1.1倍となった場合

| 全国の平均的な傾向【試算結果】 | 流量 | 洪水発生頻度 |
|-----------------|-------|--------|
| | 約1.2倍 | 約2倍 |

※流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は一級水系の河川整備の基本とする洪水規模(1/100～1/200)の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



河川整備計画等についても、**気候変動を踏まえ安全度を維持するための目標外力の引き上げが必要**

■流域治水2.0のフレームワーク ～気候変動下で水害と共生するための3つの強化～

“量”の強化

- ◆ 気候変動を踏まえた治水計画への見直し(2℃上昇下でも目標安全度維持)
- ◆ 流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進
- ◆ あらゆる治水対策の総動員

“質”の強化

- ◆ 溢れることも考慮した減災対策の推進
- ◆ 多面的機能を活用した治水対策の推進

“手段”の強化

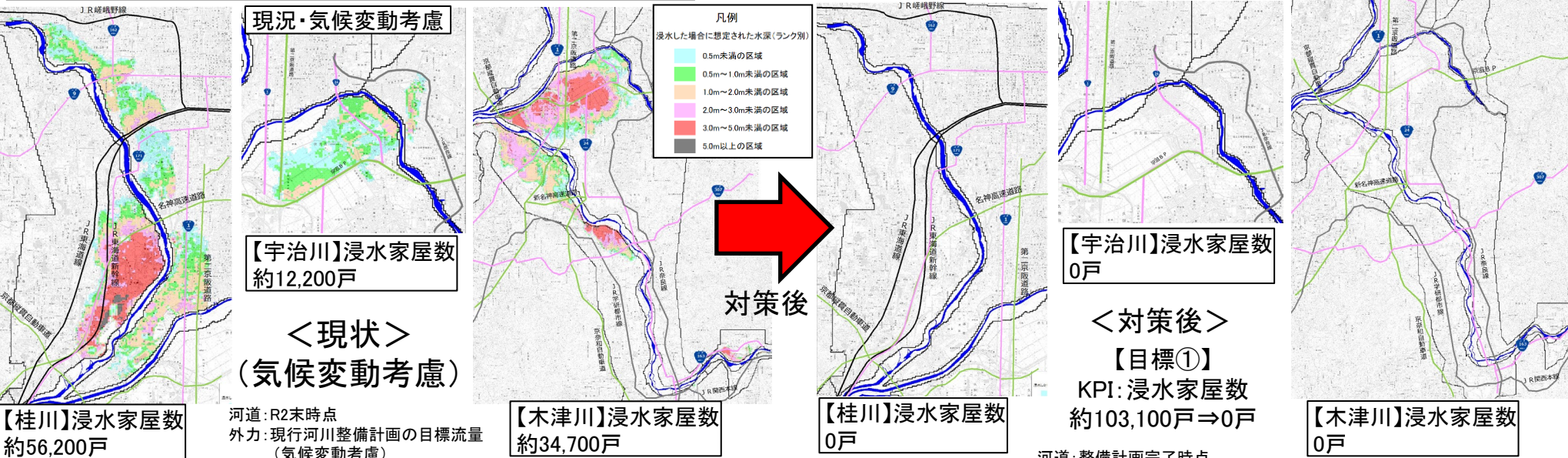
- ◆ 既存ストックの徹底活用
- ◆ 民間資金等の活用
- ◆ インフラDX等の新技術の活用

水害から命を守り、豊かな暮らしの実現に向けた流域治水国民運動

○気候変動による降雨量増加後の河川整備計画目標洪水が発生した場合、宇治川・桂川・木津川では浸水家屋数が約103,100戸になると想定され、事業の実施により、浸水被害が解消される。(淀川水系河川整備計画はR3.8に、気候変動による降雨量増加を考慮して変更済み)

■気候変動に伴う水害リスク

国管理区間からの外水氾濫による浸水範囲・浸水家屋数



＜現状＞
(気候変動考慮)

対策後

＜対策後＞

【目標①】
KPI: 浸水家屋数
約103,100戸⇒0戸

■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の河川整備計画目標洪水に対する安全の確保

宇治川: 37.0k～53.1k、桂川: 0.0k～18.6k、木津川: 0.0k～37.2k

| 種別 | 実施主体 | 目的・効果 | 追加対策 | 期間 |
|-----------------------|----------------------|---|---|-----------|
| 氾濫を防ぐ、 減らす | 国 | 約103,100戸の浸水被害を解消 | 河道掘削(宇治川): 61万m ³ 河道掘削(桂川): 455万m ³ 河道掘削(木津川): 26万m ³ 築堤(木津川): 1,600m | 概ね 30年 |
| 被害 対象を 減らす | 長岡京市 京田辺市 | 水害リスクを踏まえたまちづくり及び居住誘導区域内の防災・減災対策による居住者の命を守る | 立地適正化計画の見直し及び防災指針の策定計画等に基づく対策の実施 | - |
| 被害の軽減・ 早期復旧・ 復興 | 国 | 土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討 | 多段階の浸水想定図(浸水頻度毎の浸水深図)及び水害リスクマップ(浸水深毎の浸水頻度)の整備 | - |
| | 淀川(京都府域)分会 全18市町村 | 円滑かつ迅速な避難の確保 | 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進と、避難訓練実施支援 | - |

【目標②】小川流域における内水被害の軽減(概ね1/20規模降雨の雨水出水による浸水被害を防止)

| 種別 | 実施主体 | 目的・効果 | 追加対策 | 期間 |
|--------------------|------|------------|---------------|-----------|
| 減らす、 防ぐ、 氾濫を | 木津川市 | 小川流域の内水の排除 | ポンプ場等の排水機能整備等 | 概ね 30年 |

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

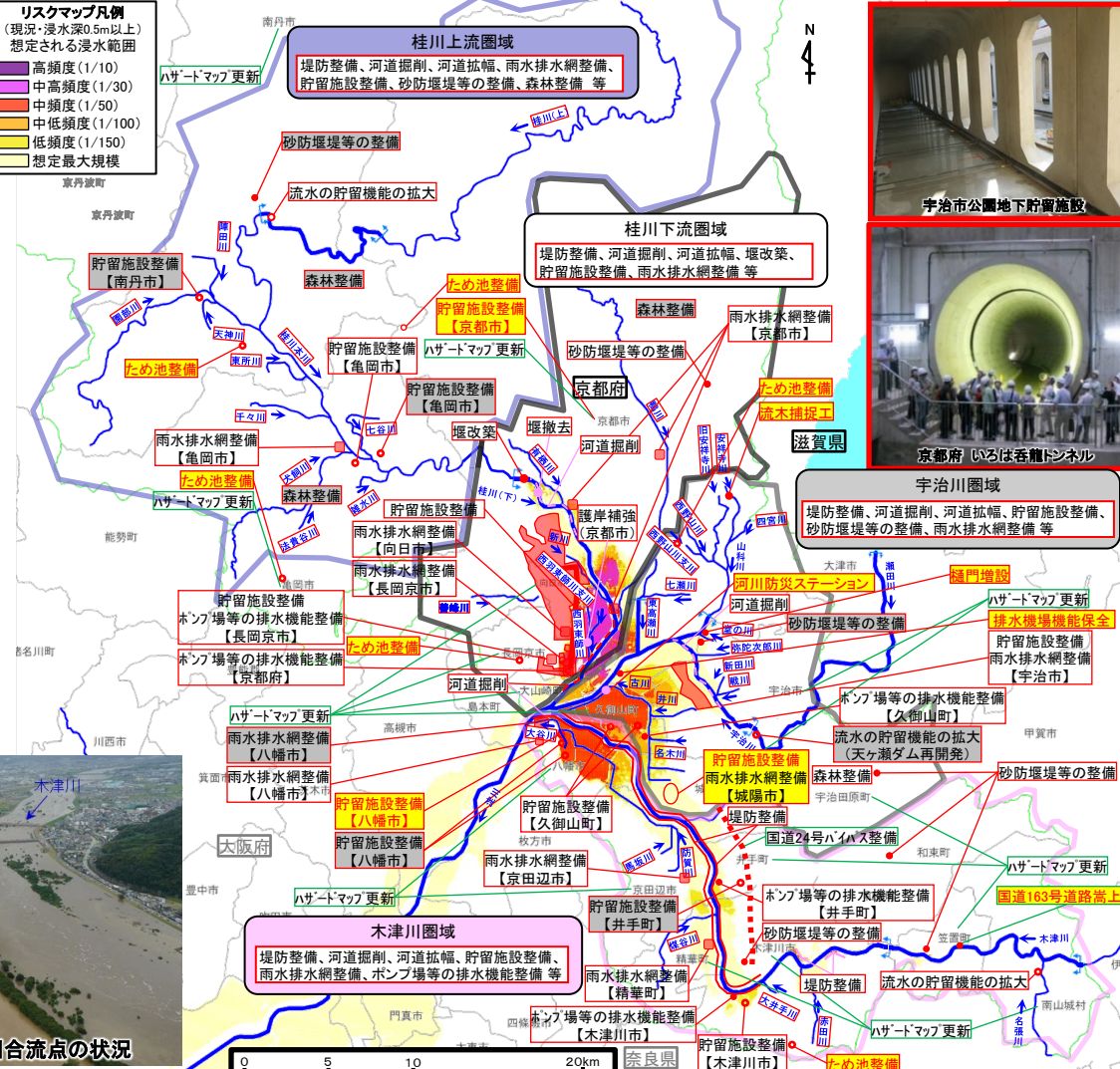
R6.3更新(2.0策定)

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

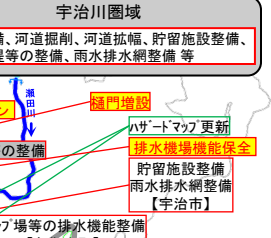
○淀川水系の京都府域では、宇治川、桂川において、平成21年に策定した旧河川整備計画の目標洪水を上回る平成25年台風18号を、木津川においては、気候変動の影響等を踏まえ、旧整備計画の目標洪水の降雨量1.1倍以上とした洪水をそれぞれ安全に流下させることを目指す。
 ○これまで、平成25年台風18号等による被害をふまえ、平成21年に策定した河川整備計画に位置づけたメニューを大幅に進捗してきたが、気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法(以下、「法」)の適用を検討し、さらなる治水対策を推進する。

- 凡例**
- 大臣管理区間・淀川河川事務所管理区間
 - 堤防整備
 - 河道掘削
 - 堰改築、堰撤去、砂防事業等
 - 県境
 - 市町村境
 - 貯留施設整備
 - 雨水排水網整備等
 - 道路整備
 - 拡充された治水対策

- リスクマップ凡例**
 (現状・浸水深0.5m以上)
 想定される浸水範囲
- 高頻度 (1/10)
 - 中高頻度 (1/30)
 - 中頻度 (1/50)
 - 中低頻度 (1/100)
 - 低頻度 (1/150)
 - 想定最大規模



平成25年台風18号洪水時の三川合流点の状況
 ※〇〇川は、整備中または整備予定の府・政令市管理河川を示したものである。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映しました。



赤字黄色ハッチ:流域治水プロジェクト2.0で追加した箇所
 ※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 堤防整備、河道掘削、堰改築、堰撤去、護岸補強
 - 砂防堰堤等の整備
 - 雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
 - 流水の貯留機能の拡大
 - 河川管理施設等の老朽化対策
 - 河道内樹木の伐採
 - ため池等の整備、貯留施設整備
 - 事前放流等の実施・体制構築
 - 堆積土砂撤去
 - 森林整備
- 法指定による雨水浸透阻害行為の規制、貯留機能保全区域の指定の検討**
- 各家庭等における雨水貯留施設整備への助成
 - 開発行為に伴う調整池の設置
 - 排水機場の機能保全等

- 被害対象を減少させるための対策**
- 水害リスクマップを活用した立地適正化計画及び防災指針の策定
 - 条例等に基づき計画している安全なまちづくり
 - 水害リスクマップの作成
 - 法指定による浸水被害防止区域の指定の検討等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 地区タイムラインの活用
 - 要配慮者避難確保計画等の作成、支援
 - ハザードマップ更新
 - マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - 分りやすい防災気象情報の提供
 - V・R・AR等を用いた情報発信
 - 河川防災ステーションの平時利活用の推進
 - 排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化
 - 排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
 - 避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - 「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策広域アクションプランに基づく適応策推進
 - 災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備
 - 雨量・水位観測装置の機能向上
 - 浸水センサの設置
 - 早期避難を支援する京都府内の水位・氾濫予測システムを構築し、精度検証(京都府管理河川を対象)
 - BIM/CIMなどの適用による三次元モデルの積極的な活用等



※浸水リスクを示す浸水範囲については、リスクマップを公表している淀川河川事務所管理区間のみを表示している。

| | 氾濫を防ぐ・減らす | 被害対象を減らす | 被害の軽減・早期復旧・復興 |
|---------------------|--|--|--|
| “量” の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○気候変動を踏まえた治水計画（2℃上昇下でも目標安全度維持） ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくハード対策 ○あらゆる治水対策の総動員 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な雨水貯留施設(いろは呑龍トンネル)整備やそれに合わせた雨水排水網整備 ・流域全体における地下貯留施設や雨水調整池、ため池、遊水機能を有した公園、防災調整池等の雨水貯留施設の整備 また、公共下水道施設、下水道床上対策、排水路整備等の雨水排水網の整備 ・ポンプ場等の排水機能整備及び保全 ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 | <ul style="list-style-type: none"> ○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・高台まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ○気候変動を踏まえた治水計画（2℃上昇下でも目標安全度維持） ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくソフト対策 |
| “質” の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・貯留機能保全区域の指定の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用や住まい方の工夫 ・防災指針策定による居住誘導区域内の防災・減災対策の実施 ・浸水被害防止区域の指定の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強い河川堤防の整備 ・水害リスクマップに基づく土地利用や住まい方の工夫 ○多面的機能を活用した治水対策の推進 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションの整備及び平時利活用の推進 ・陸上交通網の麻痺に備えた緊急用船着場整備や大堰閘門整備による舟運での早期復旧 |
| “手段” の強化 | — | — | <ul style="list-style-type: none"> ○インフラDX等の新技術の活用 ＜具体の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用 ・三次元河川管内図の整備 ・浸水センサの設置 ・排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化 |

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(京都府域)分会 【位置図】

R6.3更新(2.0策定)

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

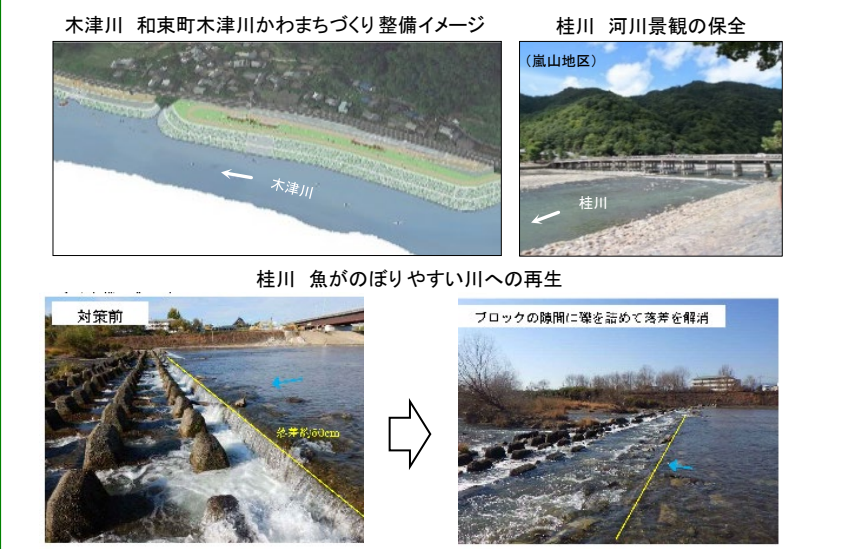
●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

- 宇治川のヨシ原や礫床、木津川の砂州河原に点在するたまりや瀬と淵、桂川の流水域と湛水域が連続する環境やワンドなどの環境に応じて、オオヨシキリをはじめとする鳥類やナカセコカワニナ、タナゴ類やヨドゼザラなどの魚介類といった、次世代に引き継ぐべき多様な生態系が存在する。
- 水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でヨドゼザラの模式産地であるワンドや魚がのぼりやすい川を整備するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



赤字黄色ハッチ:流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所
 ※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

- 治水対策における多自然川づくり
 生物の生息・生育環境の保全再生、ワンド保全・再生、魚がのぼりやすい川への再生、砂州保全
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 和東町木津川かわまちづくり、河川景観の保全
 八幡市かわまちづくり、伏見地区かわまちづくり、
 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - 淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
 - 河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
 - 小中学校における河川環境学習の実施
 - 住民団体と連携した水生生物調査の実施



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひとと繋る古都を支える流域対策の推進～

R6.3更新(2.0策定)

- 淀川水系(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点が流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
 - 【短期】桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、天ヶ瀬ダム再開発及び川上ダムを完成させる。
 - 【中期】引き続き桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、桂川の堰撤去と木津川の無堤区間の堤防整備に着手する。
 - 【長期】河川整備計画で目標としている洪水を安全に流下させるため、引き続き河道掘削等を実施し、流域全体の安全度の向上を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

黄色ハッチ: 流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所

※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | | |
|---------------------|---|---|---|---|-------------------------------|-----------------------------------|
| | | | 短期 | 中期 | 長期 | |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 堤防整備、河道掘削、堰撤去 | 淀川河川事務所 京都府 京都市 | 宇治川・桂川・木津川 河道掘削完了 (淀川河川事務所) | | | |
| | 流水の貯留機能の拡大 | 淀川ダム統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 大戸川ダム工事事務所 水資源機構 | 天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所) 川上ダム完成 (水資源機構) | | | |
| | 雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む) 等 | 京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、井手町、京田辺市 等 | 【貯留施設整備】 雨水調整池の整備 (久御山町) | 【雨水排水網整備】 排水路整備事業 (京田辺市) | 【貯留施設整備】 雨水貯留施設設置 (城陽市) | 【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市) |
| 被害対象を減少させるための対策 | 「安全なまちづくり」に向けた取り組み(立地適正化計画策定) | 長岡京市 等 | 計画変更 (長岡京市) | 【雨水排水網整備】 下水道床上浸水対策事業 (京都市) | 【貯留施設整備】 ため池整備 (京都市) | 【貯留施設整備】 遊水機能を有した公園整備 (亀岡市) |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | ハザードマップ作成・更新 まるごとまちごとハザードマップの整備、避難体制等の強化 等 | 気象庁、環境省 京都府、京都市、 木津川市、京田辺市、精華町、宇治田原町、 和束町、笠置町、南山城村 等 | 避難所標識板の設置 (木津川市) | 局地的豪雨探知システムの利活用促進と ゲリラ豪雨対策アクションプランの策定 (環境省) | | |
| | 災害救援に寄与する浸水エリア外の 道路ネットワーク整備 | 京都国道事務所 | 要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市) | 防災指針策定 (京田辺市) | | |

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひと繕る古都を支える流域対策の推進～

R6.3更新(2.0策定)

赤字黄色ハッチ:流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所

※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|-----------------|------------------------------|-------------|------------------------------|----|----|
| | | | 短期 | 中期 | 長期 |
| グリーンインフラ の取組 | 生物の生息・生育環境の保全再生 | 近畿地方整備局 京都府 | 生物の生息・生育環境の保全再生 | | |
| | ワンド保全・再生 | 近畿地方整備局 | ワンド保全・再生 | | |
| | 魚がのぼりやすい川への再生 | 近畿地方整備局 | 魚がのぼりやすい川への再生 | | |
| | 砂州保全 | 近畿地方整備局 | 砂州保全 | | |
| | 和束町木津川かわまちづくり | 近畿地方整備局 | 和束町木津川かわまちづくり | | |
| | 八幡市かわまちづくり | 近畿地方整備局 | 八幡市かわまちづくり | | |
| | 伏見地区かわまちづくり | 近畿地方整備局 | 伏見地区かわまちづくり | | |
| | 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり | 近畿地方整備局 | 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり | | |
| | 公共空間の整備 | 京都府 | 公共空間の整備 | | |
| | 河川景観の保全 | 近畿地方整備局 京都府 | 河川景観の保全 | | |
| | 淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全 | 近畿地方整備局 | 淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全 | | |
| | 河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携 | 近畿地方整備局 | 河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携 | | |
| | 小中学校における河川環境学習の実施 | 近畿地方整備局 京都府 | 小中学校における河川環境学習の実施 | | |
| | 住民団体と連携した水生生物調査の実施 | 近畿地方整備局 京都府 | 住民団体と連携した水生生物調査の実施 | | |

気候変動を
踏まえた
更なる対策
を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～みず・ひと繕る古都を支える流域対策の推進～

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

【宇治川】河道掘削を推進することにより、宇治川の治水安全度の向上。また、大島排水樋門の増設を完了することで、山科川(堂ノ川)木幡地区周辺の浸水被害の軽減を図る。

【桂川】大下津引堤と河道掘削により、近年で危険な水位まで到達した平成16年台風23号規模の洪水を桂川中下流区間で安全に流下させる。

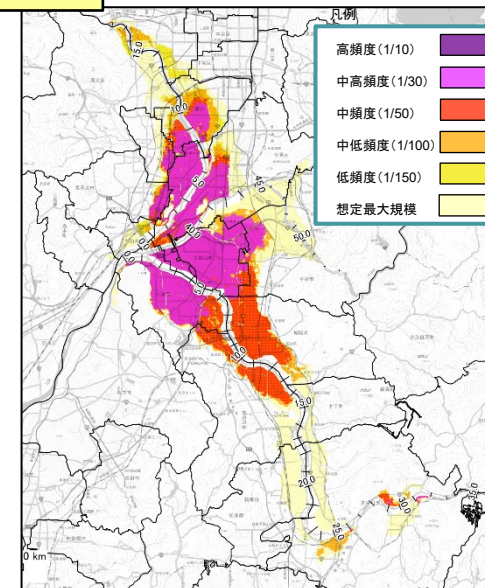
【木津川】木津川全体での堤防強化メニューの完了により、木津川の破堤リスクを軽減。

| 区分 | 対応内容 | 区間 | 工程 | | |
|-------------------------|------|----------------------|------------|-------------|--------------|
| | | | 短期 (R2~R7) | 中期 (R8~R15) | 長期 (R16~R24) |
| 関連事業 | | | | | |
| 近畿をできるだけ 防ぐ・減らすための対策 | 河道掘削 | 宇治川 | ■ | ■ | ■ |
| | | 桂川 | ■ | ■ | ■ |
| | | 木津川 | ■ | ■ | ■ |
| | 堤防整備 | 桂川 | ■ | ■ | ■ |
| | | 木津川 | ■ | ■ | ■ |
| | 樋門増設 | 宇治川 | ■ | ■ | ■ |
| | 堰改築等 | 各別、嵐山地区 (篠原・心保橋等) | ■ | ■ | ■ |
| | 引堤 | 桂川 大下津地区 | ■ | ■ | ■ |
| | 築堤 | 木津川 船屋・河原地区 | ■ | ■ | ■ |

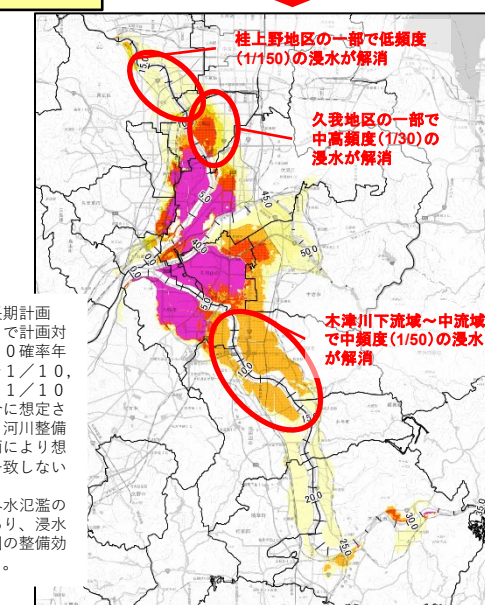
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載しています。

| 短期整備完了時の進捗 | 短期整備完了時の進捗 | 短期整備完了時の進捗 |
|------------|--------------|-------------|
| 【宇治川】 | 【桂川】 | 【木津川】 |
| 河道掘削 | 河道掘削 | 堤防整備 |
| 向島地区 100% | 桂上野地区 100% | 八幡地区 100% |
| 横島地区 20% | 久我地区 100% | 岩田大住地区 100% |
| 樋門増設 | 横大路地区 20% | 神矢地区 100% |
| 大島地区 100% | 大下津地区 10% | 菅井地区 100% |
| | 堰改築等 30% | 吐師地区 100% |
| | 引堤、旧堤撤去 100% | 船屋地区 100% |
| | 堤防整備 | 富野地区 100% |
| | 桂上野地区 100% | 平尾地区 100% |
| | 久我地区 100% | 上粕地区 100% |

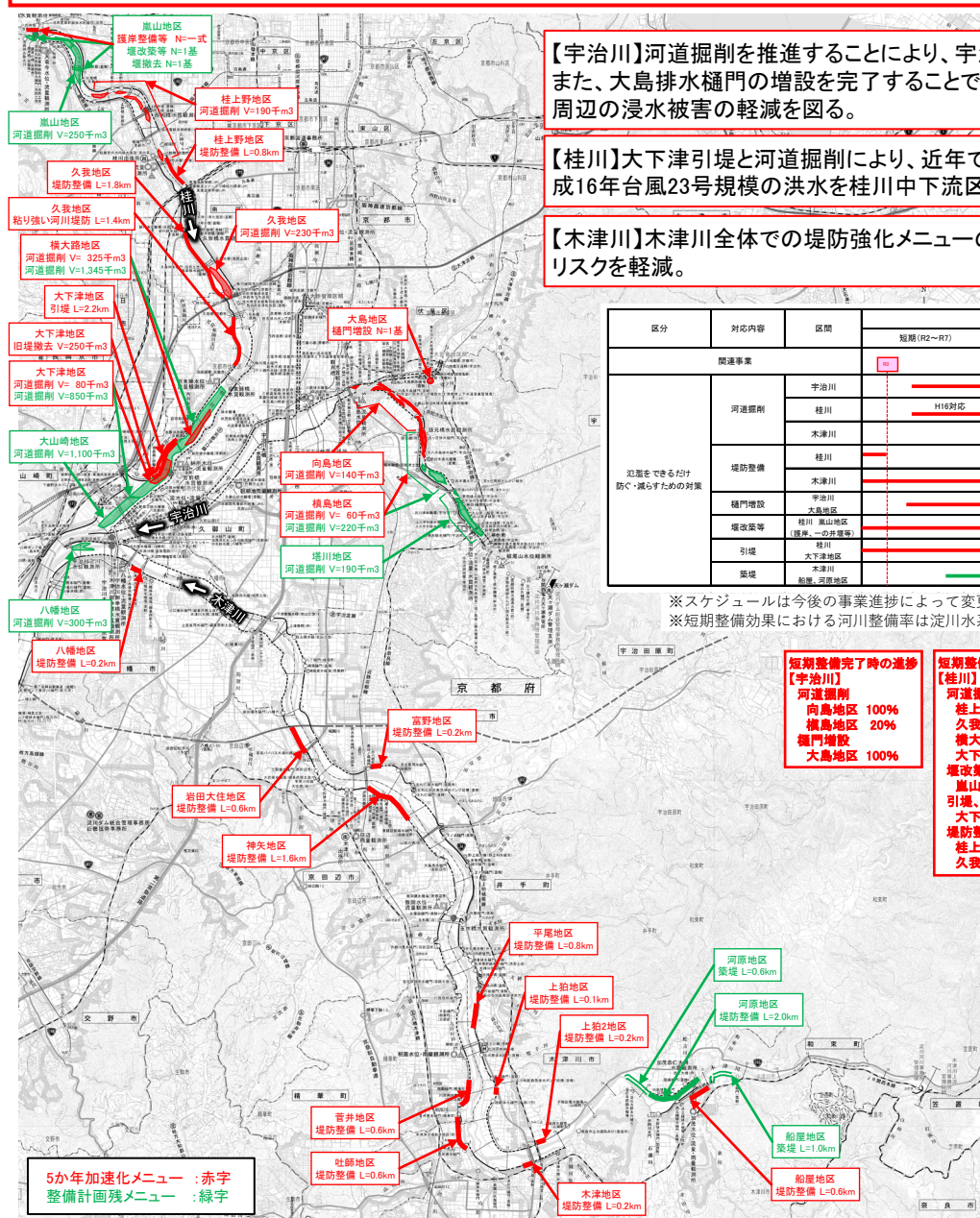
現状



短期



※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10、1/30、1/50、1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合があります。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。



5か年加速化メニュー：赤字
整備計画残メニュー：緑字

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



51市町村

（令和5年度末時点）

流出抑制対策の実施



238施設

（令和4年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 54箇所
（令和5年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 5施設
（令和5年度完成分）

※施行中 78施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



12市町村

（令和5年7月末時点）

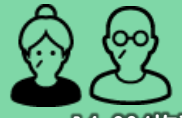
避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 268河川
（令和5年9月末時点）

内水浸水想定
区域 12団体
（令和5年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 14,904施設
土砂 966施設
（令和5年9月末時点）

個別避難計画 49市町村
（令和5年1月1日時点）

※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

遊水機能を有した公園整備計画（亀岡市）



自然共生型の
遊水地機能を
備えた公園を
整備

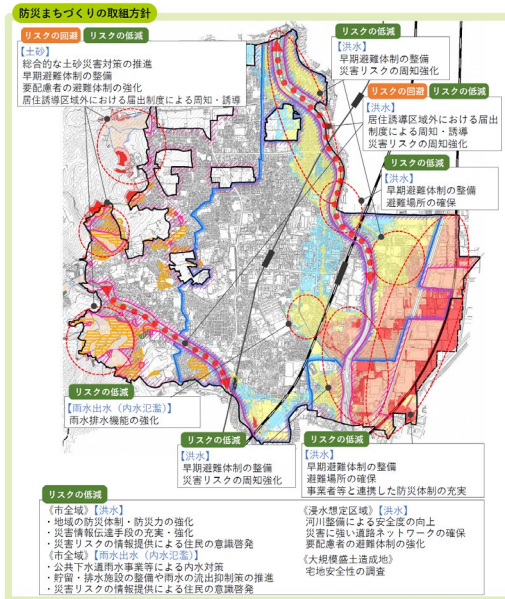
雨水地下貯留施設の整備（京都府）

雨水貯留施設
「いろは呑龍ト
ンネル」の整備
により、桂川右
岸地域の浸水
対策を実施す
る。



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画の見直し（長岡京市）



・「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」の見直し
・防災指針を追加し、災害リスクを出来る限り回避、
低減させるために必要な取り組みを具体的に提示

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

想定浸水深ラッピングによる
まらまちHMの高度化（木津川市）



マイ防災マップによる地域防災力の向上
（京田辺市）

